

【政治】

6日：唐軍書記ら市幹部、東北4都市人代常務委員会主任座談会出席者と会見

6日、大連市にて東北4都市人代常務委員会主任座談会が開催され、唐軍書記、肖盛峰市長及び市人代常務委員会の里景瑞主任が、同会議に出席するため大連を訪れた瀋陽市人代常務委員会の趙長義主任、ハルビン市人代常務委員会の王穎主任、長春市人代常務委員会秘書長の呉強主任等と会見した。唐軍書記は会見上、定期的に東北4都市人代常務委員会主任座談会を開催することは、4都市の人民代表大会が互いの経験を紹介し、互いに参考とし学習していくための積極的な意義を有していると述べた。（7日付大連日報1面）

7日：大連市、抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利70周年記念座談会を開催

7日、大連市は抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利70周年を記念する座談会を開催し、唐軍書記や肖盛峰市長ら市幹部が会議に出席した。唐軍書記は抗日戦争において自らの命を犠牲にし勇敢に戦った烈士及び犠牲となった同胞たちをしのび、大連市において抗日戦争に参加した全ての老戦士、老同志、愛国の士及び抗日戦争の指導者とその家族に対し心からの敬意を表した。唐軍書記はさらに習近平総書記が抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利70周年記念大会にて発表した重要講話の内容に触れ、大連市は当該講話の精神を学習・貫徹し、抗日戦争の精神を発揚して大連の振興と発展を推進していかなければならないと強調した。（8日付大連日報1面）

8日：陳求発遼寧省長、マラウイ共和国のピーター・ムタリカ大統領と会見

8日、陳求発遼寧省長は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れているマラウイ共和国のピーター・ムタリカ大統領と会見した。陳省長はムタリカ大統領の訪問を歓迎し、遼寧省の経済社会の発展状況を紹介した。ムタリカ大統領はマラウイ共和国と中国の友好関係が順調に発展していることを評価し、今後インフラ、教育、科学研究等の分野において遼寧省との協力関係を深めていきたいと述べた。肖盛峰市長が会見に同席した。（9日付半島晨报A11面）

8日：陳求発遼寧省長、ロシアのユーリ・トルトネフ副総理と会見

8日、陳求発遼寧省長は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れているロシアのユーリ・トルトネフ副総理と会見した。陳省長はトルトネフ副総理の訪問を歓迎し、ここ数年の中露関係の発展により、遼寧省とロシアの間で交流・協力関係を展開していくための基礎が築かれたと述べた。（10日付半島晨报A12面）

9日：市規律検査委員会中心グループ、「三厳三実」第2テーマ学習会を開催

9日、市規律検査委員会中心グループは、「党の政治規律と政治規則を厳守し、自覚して政治上の規律・規則に明るい人物になろう」を主題に、「三厳三実」テーマ教育の第2テーマの学習・研究討論会を開催した。会議は党の政治規律と政治規則を厳守していくことの重要性を認識し、中央規律検査委員会が調査した重大な規律違反案件及び大連市党幹部の周囲で発生した典型的な規律違反案件を反面教師とし、典型的腐敗事件の根本的原因を分析し、教訓をくみ取り、戒めとして自らの思想及び実際の業務に生かしていくことを確認し、今後の努力目標を明確にした。（10日付大連日報3面）

10日：唐軍書記・肖盛峰市長、ジョージア共和国のイラクリ・ガリバシヴィリ総理と会見

10日、唐軍書記・肖盛峰市長は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れているジョージア共和国のイラクリ・ガリバシヴィリ総理一行と会見し、大連市とジョージア共和国の友好協力関係締結協定の調印式典に出席した。唐軍書記と肖盛峰市長は同総理の大連来訪を歓迎し、大連市は今般の友好協力関係締結を契機に「一帯一路（陸と海のシルクロード）」という国家戦略がもたらすチャンスをしっかりつかみ、ジョージアとの各分野における協力関係をよりいっそう深め、両国の友好関係を発展させ続けていくためにあるべき貢献を行っていくと述べた。同総理は、ジョージア共和国は中国が推進する「一帯一路」戦略を支持し、アジアインフラ投資銀行（AIIB）の設立に積極的に参加していくと述べ、今後港の建設等の分野において大連企業を含む中国企業との協力関係を深め、中国の商品が欧州市場に入っていく上での最も便利で素早い「門」を建設していきたいと述べた。（11日付半島晨报 A11 面）

【経済】

6日：「危険化学品と都市ガスの安全検査活動」の総括会議開催

6日、市安全生産委員会は、天津港で発生した爆発事故を受け市内全域にて展開していた「危険化学品と都市ガスの安全検査活動」の総括会議を開催した。市は今後燃えやすく爆発しやすい性質を持つ化学品を貯蔵する倉庫と他の施設との間の安全な距離に関する標準を研究・制定し、要求を満たさない倉庫の営業を停止させ、整理・改善等の措置をとっていく予定。

（7日付半島晨报 A05 面）

また、市建設委員会は、今般の検査活動で問題が発見されたガス施設に対する再検査を9月10日から9月30日にかけて行い、改善がなされていないと専門家が判断した施設に対しては営業停止の措置をとっていくと発表した。（8日付半島晨报 A09 面）

7日：肖盛峰市長、住友化学株式会社の米倉弘昌顧問と会見

7日、肖盛峰市長は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れている日本経団連名誉会長で住友化学株式会社顧問の米倉弘昌氏一行と会見した。肖盛峰市長は、米倉顧問は住友化学会長及び経団連会長として日本企業の大連進出を促進し、大連と日本各界の交流に対し重要な貢献を果たした大連市民の古い友人であると述べ、同氏の大連訪問を歓迎した。米倉顧問はこれに対し、住友化学は中国のどの都市よりも多く大連の企業に対し投資を行っており、大連には良好な投資環境と誠実なパートナーが存在し、今後も大連にて新たな投資プロジェクトを探していきたいと述べた。また、大連市の名誉市民として、今後更に多くの日本企業が大連に投資するよう後押ししていきたいと強調した。（9日付半島晨报 A11 面）

8日：唐軍書記・肖盛峰市長、中国建設銀行の王洪章董事長と会見

8日、唐軍書記・肖盛峰市長は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れている中国建設銀行の王洪章董事長一行と会見した。会見終了後、建設銀行は大連市政府と「イノベーションの発展における全面的金融協力協定」を締結し、また建設銀行大連支店は大連港集団と「産業基金戦略協力協定」を締結した。当該協定によれば、建設銀行と市政府は今後300億元を超えない規模の「東北アジア発展産業基金」の設立を積極的に推進し、市内の重要なインフラや産業区建設等のプロジェクトに投資していく見込み。また、建設銀行はそのグループ経営の特性を生かし、大連の産業構造調整と生活保障の改善等の分野に対し各種の方式にて積極的な金融的支援を行っていく予定。

（9日付半島晨报 A11 面）

8日：唐軍書記、海航集團董事局の陳峰主席ら民営企業家一行と会見

8日、唐軍書記は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れている海航集團董事局の陳峰主席ら民営企業家一行と会見した。唐軍書記は、大連の発展には民営企業の協力が不可欠であり、民営企業の大連に対する投資を歓迎し、今後も民営企業の大連における発展のために良好な投資環境とサービスを提供していくと述べた。(9日付半島晨报 A11面)

8日：ダボス会議の入場券を獲得した6名の市民代表、WEFのシュワブ会長と会見

8日、8月に行われたキャンペーンに勝ち残り夏季ダボス会議の入場券を獲得した6名の市民代表が、国際会議センターにて世界経済フォーラム(WEF)の創設者であるシュワブ会長と会見した。シュワブ会長は6名の市民代表に対し、会議における各種の活動に参加し、更に多くの大連市民の声を会議に届けてほしいと述べた。(9日付大連晩報 A3面)

9日：唐軍書記・肖盛峰市長、世界経済フォーラムのシュワブ会長と会見

9日、唐軍書記・肖盛峰市長は世界経済フォーラム(WEF)のシュワブ会長と会見した。唐軍書記・肖盛峰市長は、シュワブ会長の支持の下で夏季ダボス会議の影響力はますます大きくなり、夏季ダボス会議を開催することで大連を世界に知らしめ、大連と世界各国との貿易交流や協力関係の締結を促進し、大連の国際的知名度を上げることができたと述べ、シュワブ会長及びWEFに対する感謝の意を表明した。シュワブ会長は今般の夏季ダボス会議の準備作業を高く評価し、大連市の努力と協力に対し感謝の言葉を述べた。(10日付半島晨报 A12面)

9日：肖盛峰市長、兼松株式会社の下嶋政幸社長と会見

9日、肖盛峰市長は兼松株式会社の下嶋政幸社長一行と会見した。肖盛峰市長は下嶋社長に大連市の社会経済発展状況を紹介し、同社との各方面における協力関係を強化していきたいと述べた。下嶋社長は自社の大連におけるビジネスは順調であり、これは政府部門の外国企業に対するサービスと大連の良好な投資環境のおかげであると述べ、更なる協力関係強化のための方法を積極的に探していきたいと強調した。(10日付半島晨报 A12面)

9日：大連市、2015年夏季ダボス会議参加者らを対象にしたレセプションを開催

9日、2015年夏季ダボス会議参加者らを対象にした大連市主催のレセプション「大連ナイト」が開催された。グレナダのキース・ミッチェル総理、国家発展改革委員会の徐紹史主任、遼寧省の夏徳仁政協主席、世界経済フォーラムのシュワブ会長、肖盛峰大連市長らがレセプションに参加した。(10日付大連日報 1面)

9日：大連市、夏季ダボス会議の力を借り81億米ドルの資金を導入

9日、大連市は「2015年夏季ダボス会議プロジェクト調印式」を開催し、米国、英国、イタリア、ポーランド、日本、香港等多くの国・地域の企業を含む20社余りのダボス会員企業との間で、総額81.4億米ドルにのぼる投資契約を結んだ。遼寧省党委の李希書記、陳求発遼寧省長、大連市党委の唐軍書記、肖盛峰大連市長らが調印式に出席した。(10日付半島晨报 A04面)

10日：陳求発遼寧省長、米国商務省のアンドリュース副長官と会見

10日、陳求発遼寧省長は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れている米国商務省のアンドリュース副長官と会見した。陳省長は、遼寧省は省内の企業が米国に進出し発展していくことを支持しており、米国の企業が遼寧省に進出し投資をするよう、米国商務省に後押しをしてほしいと述べた。肖盛峰大連市長が会見に同席した。(11日付半島晨报 A11面)

10日：肖盛峰市長、韓国中堅企業連合会の姜鎬甲会長と会見

10日、肖盛峰市長は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れている韓国中堅企業連合会の姜鎬甲会長一行と会見した。肖盛峰市長は、大連市は李克強総理の提唱する「大衆による創業、万民によるイノベーション」政策を重視し数々の関連措置を採ってきており、今後更に多くの韓国中小企業と大連市の企業家・イノベーション企業が協力関係を結べるよう、韓国中堅企業連合会に協力して行ってほしい旨述べた。(11日付半島晨报 A11面)

10日：肖盛峰市長、ノボザイムズ社のトーマス業務開発執行副総裁と会見

10日、肖盛峰市長は夏季ダボス会議参加のため大連を訪れているデンマークノボザイムズ社のトーマス業務開発執行副総裁一行と会見した。同社は世界最大の産業用酵素の生産・開発・販売を行う企業であり、肖盛峰市長は同副総裁に対し金普新区と花園口経済区に建設したバイオテクノロジー産業パークの状況を紹介し、今般の来訪を通し同社との協力関係を深め、今後バイオテクノロジーの研究開発・生産販売を行う拠点としたい旨述べた。同副総裁は、今後大連市と都市汚水、固体の廃棄物処理及び農業の分野において協力の可能性を模索し、大連市の循環型経済発展促進のために貢献していきたいと述べた。(11日付半島晨报 A11面)

【社会・文化】

10日：豪華クルーズ船「中華泰山号」の正式就航式開催

10日、豪華クルーズ船「中華泰山号」の大連港を始発港とする正式就航式が大連港にて行われた。式典では盧林大連市副市長が就航開始を宣言し、「中華泰山号」は900名の旅客を満載し佐世保及び福岡に向け出航した。当該クルーズ船は大連港・日本間の航路を5回就航する契約を結んでおり、その内訳は試験就航4回、正式就航1回となっている。クルーズ船での旅行は大連と東北地方の旅行客から幅広く受け入れられ、ほぼ全ての試験就航においてクルーズ船は満席となった。市旅遊局の責任者は、当該クルーズ船の正式就航は、大連港が「クルーズ船が訪問する港」から「クルーズ船始発港」へと変化し始めていることを意味しており、今後も段階的に韓国、ロシア極東地域へ向かう新航路を開設していく予定であると述べた。(11日付大連日報 7面)

【日本関連報道】

4日：抗日戦争勝利を記念した遠泳活動を開催

4日、市内各地の寒中水泳愛好会から集まった25名の水泳愛好家が、「抗日戦争勝利を記念する1万メートル遠泳活動」を開催した。参加者は平均約3時間をかけ、十八盤から北大橋までの距離を泳ぎきった。当該遠泳活動は近年大連市において組織された遠泳活動のうち、最も長い距離を泳いだもの。(5日付大連日報2面)

4日：バリアフリー映画館にて身体障害者を対象とした抗日戦争映画鑑賞会を開催

4日、中山区身体障害者連合会は50人以上の身体障害者を組織し、市内のバリアフリー設計が施されている映画館にて抗日戦争に関連する映画「東京裁判」の鑑賞会を開催した。(5日付大連日報2面)

(注) 9月5日～9月11日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。